



P12 インタビュー
三和(株)

特集

令和7年度事業報告・

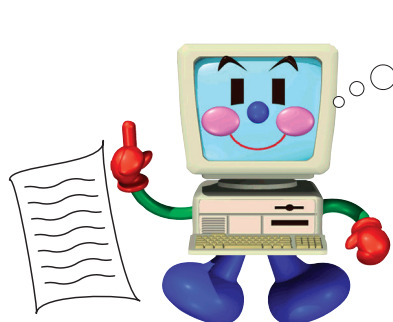
各会計収支決算承認

7

2026 July



印刷 (カタログ・一般帳票
フォーム帳票・冊子類・広報誌
ポスター・チラシ・ハガキ封筒
名刺・シール・自費出版 等)
デザイン・版下



紙原稿での入稿から、
CD等各種メディア入稿、
メール入稿もOK。
データ作成も
承ります。

使用OS: MAC OS, Windows OS
使用アプリケーション:
イラストレータ、フォトショップ、
インデザイン、アクトバットPDF、
Word, Excel, Power Point, 一太郎, 花子 他

株式会社 石井印刷

〒335-0005 埼玉県蕨市錦町2-6-1
TEL 048-442-2306 (代) FAX 048-441-3714
Email ishii@warabi.ne.jp
ホームページ http://www.ishii-print.jp/

【お一人様】月々2,000円(うち保険料1,700円)で
事業経営を幅広くサポートします!

事業総合傷害保険
ケガの補償

お客様サービス事業
災害防止

お客様サービス事業
福利厚生



「経営」を守る・支える
一般財団法人

あんしん財団

通話料無料

0120-311-816

(受付時間 平日9:00~17:30)

認可特定保険業者

埼玉支局: 〒330-0854

さいたま市大宮区桜木町1-9-6 大宮センタービル

※この広告は制度の概要を説明したものです。ご加入の際は必ずパンフレットと重要事項説明書で制度内容をご確認ください。

※介護保険法の要介護認定を受けている方や、経営や就業の実態がない方等のご加入いただけません。また、業種や地域・エリアによっては新規加入をお受けすることができない場合がありますので、ご了承ください。

※ご提供いただいた個人情報は、当法人の制度のご案内のみに利用させていただきます。また、当法人が責任をもって管理します。

0039-2305-0000-028

会員情報変更の際は ご連絡ください。

事業所名、代表者名、住所、電話番号等
が変わりましたら、お手数ですがご連絡く
ださい。

【お問い合わせ】

蕨商工会議所

TEL 048-432-2655

FAX 048-444-1785

メール info@warabicci.org



蕨商工会議所

専門個別相談

◇税務相談 ◇労務相談

◇法律相談 ◇メンタル対策

◇金融診断 ◇P C相談

○相談料 6,600 円 (但し蕨商工会議所会員企業は無
料です) 相談は全て予約制ですので、お電話にて
ご予約下さい。

○会場は、蕨商工会議所または相談企業となります。

蕨商工会議所

Tel 0 4 8 - 4 3 2 - 2 6 5 5

蕨商工会館ご利用案内

ホームページからご予約下さい。(単位: 円)

会議室名	定員 (人)	午 前 (9:00 ~ 12:00)	午 後 (13:00 ~ 17:00)	夜 間 (17:00 ~ 21:45)
2階会議室	52	3,960	7,920	11,880
全室	130	5,610	10,890	15,180
3階ホールA室	90	3,300	5,940	8,910
B室	40	2,310	4,950	6,270

・非会員は3割増し、土・日・祭日の会員利用は2割増
し、土・日・祭日の非会員利用は6割増し、宴席での
使用は5割増しとなります。

・音響、映像設備使用時は別途料金がかかります。

会員限定チラシ印刷サービスの案内

業務効率向上や印刷コスト低減を図りたい際に、
ぜひご活用ください。

料金: 紙代のみ (A 4は1円 / 枚、A 3は2円 / 枚)
※モノクロ、カラー共通の料金です。1回あたり
300枚までのご利用とさせていただきます。

お問い合わせ: 蕨商工会議所

TEL 048-432-2655

FAX 048-444-1785

8時30分~17時00分



魂に響く書「遥」

「昏（くら）きより 昏き道にぞ
入りぬべき 遥かに照らせ 山の端
の月」

和泉式部の短歌。

「遥」という文言が実に
すてきに使われている。

書道家

金澤 翔子



< INDEX >

第 197 回通常議員総会開催 4・5

埼玉県商工会議所連合会合同委員会
埼玉県中小企業DX導入支援補助事業 . . . 6

改正労働安全衛生規則
大規模小売店舗の新設情報
源泉税個別指導会及び記帳個別指導会 . . . 7

コラム
「中小企業のためのDX事例」 8

INFORMATION 9

Watch・青年部だより 10

ふタコが行く・お悩み相談 11

Interview「三和(株)」 12

会議所行事予定

1	WED	
2	THU	・第2回商業振興委員会 ・埼玉県防衛協会 定期総会
3	FRI	・「売上確保」「販路開拓」で伸びる企業の人材術セミナー ・令和8年度蔵防火協会 県外研修会
4	SAT	
5	SUN	
6	MON	
7	TUE	・埼玉県商工会議所連合会第2回総務・地域振興委員会
8	WED	・埼玉県商工会議所連合会第2回商業・観光振興委員会 ・源泉税個別指導会&記帳個別指導会 ・埼玉県信用保証協会との意見交換会
9	THU	・埼玉県商工会議所連合会第2回工業・技術振興委員会
10	FRI	
11	SAT	
12	SUN	
13	MON	・令和8年度商工会・商工会議所職員研修
14	TUE	・埼玉県商工会議所連合会 県南地区事務局長会議 ・地域共創に関するカンファレンス
15	WED	
16	THU	・定例法律相談 ・蕨市まち・ひと・しごと創生総合戦略有識者会議
17	FRI	
18	SAT	
19	SUN	
20	MON	
21	TUE	・令和8年度商工会・商工会議所職員研修
22	WED	
23	THU	
24	FRI	
25	SAT	
26	SUN	
27	MON	
28	TUE	・令和8年度商工会・商工会議所職員研修 ・正副会頭会議
29	WED	
30	THU	・令和8年度商工会・商工会議所職員研修
31	FRI	

第197回通常議員総会開催

令和7年度事業報告・ 一般会計並びに各特別 会計収支決算他を承認

令和7年度事業報告及び一般会計並びに各特別会計収支決算等の審議を行う「第197回通常議員総会」を6月24日、当商工会館において正副会頭・役員・議員出席のもと開催しました。

通常議員総会は、冒頭に齊藤会頭が当面する管内商工業の諸問題について所感を述べた後、議長となり議事が進められ、審議の結果、令和7年度事業報告、一般会計並びに各特別会計収支決算に関する件、全ての議案が原案通り可決承認されました。

令和7年度の主な事業の実施概要は次の通りです。

【総括的概要（抜粋）】

昨年の我が国経済は、少子高齢化にともなう経済の縮小、生産年齢人口の高齢化という構造的な問題に直面している中で、中小・小規模事業者を取り巻く経営環境は、エネルギー価格を中心とした物価や賃金の上昇、慢性的な人手不足の問題、また、国際情勢の不安定化、自然災害の頻発への対応など様々な問題を抱え、依然として厳しい状況のなかで推移した。

経済社会が急速に変化し、多様化する中で、商工会議所が果たす役割と責務がますます重要性を増し、地域の中核的存在として議員大会などを通じて中小・小規模事業者の活力強化、地域経済の活性化、税制改革などの経済対策に関し積極的な意見、要望活動を展開するなどその機能を有効かつ適切に活かして使命達成のため総力を傾注した。

特に、昨年度は、会員を対象にした景況調査を実施し、経営実態を把握するとともに今後の経営支援を行

うための基礎資料とした。

伴走型支援においては、事業環境変化対応型支援事業による専門家派遣の積極的な活用などにより「中小企業新事業活動促進法」に基づき各企業の経営革新計画の策定支援を総合的に実施した結果、18社が計画承認を得ることができた。その後においても、経営指導員を中心として定期的なフォローアップとともに計画実行のための継続的な支援を行った。

また、「経営者塾」や「創業講座」などをはじめ各種講座の開催や個別相談をとおり、各企業の経営力向上や創業希望者に対する支援を行った。

さらに、昨年度は、議員改選の年にあたり、「議員の選挙及び選任に関する規約」に基づき、一連の改選手続きを円滑に進め、1号・2号・3号議員の選任を行った。

一方、中心市街地活性化対策については、「中心市街地活性化プラン」のもと、エリアリノベーション事業の一環としての空き店

舗対策事業は、（一社）蔵ブランド協会との連携、また、市、商工会議所、金融機関、民間会社との四者間により締結した「空き店舗の有効活用等の促進に関する協定」に基づき、貸し店舗化に向けた取り組みを進めた。

また、地域情報誌「ぐるぐる蔵」Vol.46・47を継続発行するなど活性化のための諸事業を展開した。

工業部門においては、各企業からのニーズに基づき経営基盤強化のための経営ノウハウ、技術開発等の実践的な個別指導や企業診断を行ったほか、広域ビジネス交流会への参加や研修会の開催など企業の自立的発展を促すための各種支援事業を推進し今後の工業振興策の一助とした。

さらに、小規模事業対策については、中小企業相談所を中心に経営発達支援計画に基づく販路開拓、拡大支援をはじめ、国、県等の各種融資の斡旋を行う金融指導や定例専門相談のほか、税務、労働、経営などに関する窓口、巡回、個別、

集団指導等を中小・小規模事業者に対し積極的に展開した。

各種事業活動 の主な概要

意見活動

商工会議所活動の重要な柱として商工振興・地域活性化対策やその他諸問題について随時関係方面に要望・陳情等の意見活動を展開した。

中期行動計画

経済活動や社会生活を取り巻く環境が大きく変化するなか、多様化する企業の要請と地域ニーズに対応していくために、単年度の事業計画のみならず、中期的に目指すべき方向性や考え方を明確にした第5期中期行動計画（令和5年度～令和7年度の3か年）の事業について、実践的な取り組みを行った。また、第5期中期行動計画の最終年度となり、新たに第6期中期行動計画（令和8年度～令和10年度の3か年）の策定を行った。

組織強化

事業所の廃止、移転等にもなう会員の減少が続く、退会者が入会者を上回る結果となった。そのような中でも、関係団体の協力を得ながら、会員のメリットを分かりやすく伝えることを重視した加入勧奨を推進した。さらに、新規事業所を含め「蔵店舗ガイド」で会員紹介を行うなど年間を通して、会員サービス事業を展開した。また、会員事業所の業務効率化・販路開拓等を目的とした「会員限定チラシ印刷サービス」を展開し、各事業所の広報活動の支援を行った。

・会員加入件数 62件

景気動向調査

管内事業者の景況感や経営課題、今後必要とする支援ニーズを把握することを目的に実施した。景況感是不変とする回答が多く、全体として横ばい傾向が見られた。経営課題としては、諸経費の増加、客数の減少などが多く挙げられた。

・回答数 224件

中小企業の経営基盤強化支援

厳しい経済状況の中で懸命に経営努力を続けている中小企業者に対し、金融斡旋、技術指導、経営革新などの自立的発展を促すための各種支援事業を実施した。

◇金融支援等

・埼玉県制度融資斡旋 131件

1,457,350千円

・日本政策金融公庫制度融資斡旋24件

132,800千円

中心市街地活性化、小売商業活性化対策の推進

中心市街地活性化プランの計画更新に伴い、新たな3か年計画が蔵市により策定された。本計画に基づき、空き店舗対策の一層の強化を図るため、マッチング支援の拡充や活用モデルの創出に取り組みとともに、蔵ブランドの深化と地域プロモーションの強化を進めた。

重点課題である空き店舗対策については、昨年度に

市・商工会議所・金融機関・民間企業の四者で締結した「空き店舗の有効活用等の促進に関する協定」に基づき、空き店舗情報の共有、所有者との交渉支援、潜在的借り手とのマッチングなど、官民が連携した総合的な支援体制を構築した。これにより、空き店舗の利活用を促進するための基盤が強化された。

さらに、蔵市の蔵銀座商店街エリアにある長らく空室状態だった店舗を活用した期間限定のチャレンジショップを開設した。選考を経た4事業者がブースを構えて出店し、当商工会議所も出店期間における販売計画作成や、広報活動を支援した。本事業は各種メディアに取り上げられ、物件所有者からは貸店舗化の重要性への気づきと、次回改装する際は是非1階部分を新装の店舗としたいとの声を頂戴した。

小規模事業対策の推進

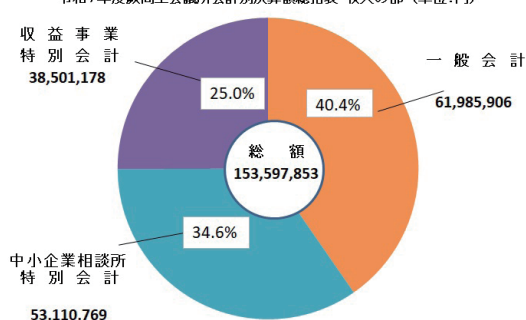
◇創業支援・経営革新に係る相談指導
新規開業や独立開業のた

めの手続き、また創業3年未満の事業所に対して、重点的な支援を行った。また、新しい分野への進出や事業の多角化など経営革新をすすめるうえで必要な事項など、さまざまな相談に対応し指導を行った。また、(株)埼玉りそな銀行蔵支店や川口信用金庫蔵支店、(株)日本政策金融公庫浦和支店、蔵市と共催で創業講座を実施した。

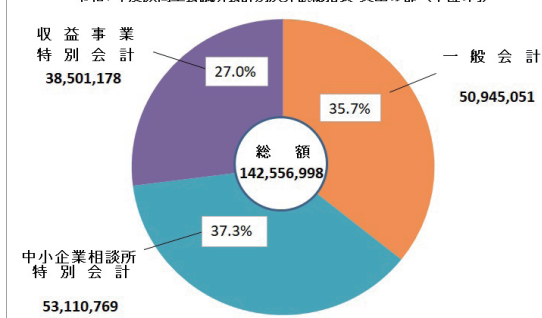
・創業支援社数 11社
・創業講座参加 20名
・経営革新計画の承認を受けた企業 18社

各会計別収支決算総括表

令和7年度蔵商工会議所会計別決算額総括表 収入の部 (単位:円)



令和7年度蔵商工会議所会計別決算額総括表 支出の部 (単位:円)



◇BCPの支援事業実施
大規模な自然災害や事故、疫病の流行など不測の事態が起こった場合に備え、リスクを最小限に抑え、業務を早期に再開することなどを目的に策定するBCP（事業継続計画（BCP＝Business Continuity Plan））について、特に、事業継続力強化計画（簡易版BCP）の国への申請に向けた個社支援を行った。

・事業継続力強化計画（簡易版BCP）申請件数4件

埼玉県商工施策および予算編成を要望へ

(一社) 埼玉県商工会議所連合会

第1回合同委員会を開催

県内16商工会議所で組織する埼玉県商工会議所連合会の第1回合同委員会が6月8日に開催され、令和9年度商工施策等に関する要望活動の進め方等について説明が行われました。

埼玉県商工会議所連合会には、3委員会(総務・地域振興委員会、商業・観光振興委員会、工業・技術振興委員会)が設置され、委員会ごとに来年度の商工施策要望について協議が行われます。当商工会議所からも委員を委嘱し、委員の方が管内事業者の現況および地域商工業振興発展のための施策について意見を述べています。

なつて埼玉県への要望活動を行つています。要望活動は毎年実施し、制度設計や支援策に反映されるよう継続的に働きかけております。行政機関との意見交換の場では、現場の課題や成功事例を具体的に共有し、実効性の高い施策の実現に向けて提案を行います。

当商工会議所を含む県内商工会議所では、地域の中企業・小規模事業者の皆様の声を丁寧に向い、事業環境の改善につながる施策の実現に向けて、一丸と

7月から公募開始

埼玉県中小企業DX導入支援補助事業

埼玉県では県内中小企業の生産性向上を目的に、DXツール導入を支援する「埼玉県中小企業DX導入支援補助金」の公募を行っています。DX導入は、人手不足解消、ミス削減、売上管理や経理の効率化等を図りたい全ての事業所で効果が期待できます。

【補助対象経費】

①労働生産性向上に資するDXツールの購入費(リース等の利用料を含む)

②前述①に係るツールの導入に当たり、運用のため必要となるデジタル機器購入費(リース等の利用料を含む)

③上記①・②に係る設置や運搬、動作確認、設定等の導入に要する経費(ただし、補助対象経費総額の1/2以下)

【申請期間】

第1期…7月1日～31日16時

第2期…8月3日～31日16時

第3期…9月1日～30日16時

【申請方法】

ホームページからの電子申請となります。

300万円以内

・3/4以内
・7万5千円

【補助率、補助額】

制度となっています。



QRコードから
アクセスできます

埼玉県商工施策要望 スケジュール(予定)

【7月】

- ・第2回3委員会開催
- ・ワーキング・グループ会議

【8月】

- ・第3回3委員会開催

【9月】

- ・3委員会正副委員長と埼玉県産業労働部
幹部職員との意見交換会
- ・第1回会頭会議

【10月】

- ・埼玉県商工会議所議員大会

【11月】

- ・県知事、県議会議長を訪問・要望書提出

- ・総務・地域振興委員会
常議員 須賀 昭仁 氏
- ・商業・観光振興委員会
常議員 酒井 佳延 氏
- ・工業・技術振興委員会
副会頭 町田 新一郎 氏

昨年 労働安全衛生規則が改正 職場における熱中症対策は法的義務です

近年、夏季の気温上昇は年々深刻さを増しており、熱中症による労働災害も後を絶ちません。こうした状況を踏まえ、令和7年6月1日より改正労働安全衛生規則が施行され、職場における熱中症対策が罰則付きの法的義務となりました。

本改正では、熱中症を生ずるおそれのある作業を行う事業場に対し、事前に整備すべき体制や手順が明確に定められています。具体的には、①熱中症の自覚症状がある作業員、またはその兆候に気づいた者が速やかに報告できる体制を整え、周知すること、②作業からの離脱、身体の冷却、必要に応じた医師の診察、緊急連絡網や搬送先の確認など、症状悪化を防ぐための措置と手順を定め、関係者に周知することが義務化されました。

対象となるのは、暑さ指数であるWBGT（湿球黒球温度）28度以上、または気温31度以上の作業場で、継続して1時間以上、または1日4時間超の作業が見込まれる場合とされています。建設業、運送業、製造業、警備業など、多くの業種が該当する可能性があります。

特に中小・小規模事業者では、現場任せになりがちな暑さ対策を、今回の改正を機に「会社としての仕組み」として整備することが重要です。



項目	内容	実施状況
1. 報告体制の整備	自覚症状・異変を速やかに報告できるルールを作成し、全員に周知している	☐ 済 ☐ 未
2. 緊急時の対応手順	作業中断、冷却、医療機関受診、搬送先などの手順を文書化している	☐ 済 ☐ 未
3. WBGTの測定	WBGT計を設置し、作業前・作業中に測定している	☐ 済 ☐ 未
4. 作業計画の見直し	高温時間帯を避けた作業計画やローテーションを組んでいる	☐ 済 ☐ 未
5. 休憩・水分補給	こまめな休憩と水分・塩分補給を徹底する仕組みがある	☐ 済 ☐ 未
6. 作業環境の改善	送風機・遮熱シート・空調服などの導入を検討・実施している	☐ 済 ☐ 未
7. 教育・訓練	熱中症の兆候・応急処置・報告方法について定期的に教育している	☐ 済 ☐ 未
8. 健康管理	持病・体調不良者への配慮や作業軽減措置を行っている	☐ 済 ☐ 未

【参考】実施状況チェックリスト

蔵青色申告会と共催にて、源泉税個別指導会・記帳個別指導会を開催いたします。当日は納付書の確認やその他、疑問に当商工会議所職員が対応致します。

【日時】7月8日（水）
9時30分～15時30分（11時30分～13時はお昼休みとさせていただきます。）

源泉税個別指導会及び 記帳個別指導会のお知らせ

蔵青色申告会と共催にて、

【場所】
蔵商工会館3階多目的ホール



◇大規模小売店舗の新設情報◇

大規模小売店舗立地第5条第1項の規定により、次のとおり届出書が出されました。

◆大規模小売店舗の名称及び所在地

名称：（仮称）コープ蔵北町店

所在地：埼玉県蔵市北町四丁目3291番地 外

◆大規模小売店舗において小売業を行う者

名称：生活協同組合コープみらい 他

◆大規模小売店舗の新設をする日

令和9年2月5日（予定）

◆大規模小売店舗内の店舗面積の合計

2,031㎡

◆開店時刻及び閉店時刻

午前9時00分～午後11時00分

◆届出書の縦覧期間

令和8年6月19日～10月19日

※QRコードからアクセスできます



中小企業のための

DX事例

「住宅建設の工程と引き継ぎを変えたDX」

今回は、住宅建設の仕事を、

職人や担当者の経験だけに頼らず、工程と引き継ぎをデジタルで管理する形に変えた事例です。奈良市にあるアイニコグループ株式会社（旧社名：株式会社楓工務店）は、注文住宅やリフォームを手掛ける地域の工務店です。同社の取り組みで特筆すべきは、住宅づくりを営業、設計、インテリアコーディネート、施工管理が関わる一連の仕事として捉え直し、どの段階で誰が何を済ませ、次の担当へ何を渡すのかをはっきりさせた点にあります。その背景には、創業者の田尻忠義氏が大工時代に見てきた住宅現場の課題があ

りました。

住宅建設の現場には、完成を楽しみにする施主が足を運びます。そこで「カウンターの高さを変えたい」「窓が思っていたより小さい」と声をかけられても、現場では対応できないこともあります。施主が打ち合わせで伝えたつもりの要望が現場まで届いていない。会社は説明したつもりでも、施主には十分に伝わっていない。家づくりには複数の会社や職人が関わるため、情報が途中で抜け落ちやすい課題がありました。

同社でも、従業員が増えるにつれて、人によって教える内容や手順が違うことが問題になりました。そのため、同社では家づくり

の各段階で、誰が何を確認し、次の担当へ何を託すのかを、若い社員が迷わず仕事を進められるように整理しました。

まず、電話や口頭、付箋に頼っていた連絡をチャットに移し、社内外の関係者が同じやりとりを確認・共有ができるように変更しました。次に、業務手順やルールをクラウド上に残し、人によって進め方が変わらないようにしました。さらに、案件ごとに工程、担当、期限、確認者を決め、進み具合や抜け漏れを確認できるようにしました。確認漏れや連絡忘れがあれば通知する仕組みも整えました。

この発想は、大工時代の段取りにも通じます。住宅の現場では、材料の手配や職人の順番を誤ると工事が止まります。田尻氏はこの段取りを、社内の仕事にも応用しました。近年はAIも使い、図面確認の自動化や資金計画の精度向上などの業務改善にも取り組んでいます。

この事例で注目したいのは、現

場で起きやすい話の行き違いを、工程と引き継ぎの問題として捉え、見直しとデジタルを日々の仕事に組み込んできた点です。仕事がどこで止まり、どこで人の記憶に頼っているのかを見直しながらデジタル化を進めたところに、中小企業が学べる点があります。

（この事例は筆者取材時のものであり、現在では異なる場合があります）

PwCコンサルティング合同会社

PwC Intelligence

シニアマネージャー

大川 真史



INFORMATION

金融情報

マル経資金 金利 2.60%

小規模事業者経営改善資金（マル経）のご利用を希望される方は2期分の決算書をお持ちのうえ、蕨商工会議所までお越し下さい。

◆貸付対象

○従業員が20人以下（商業・サービス業では5人以下）

○蕨市内で1年以上営業しており、蕨商工会議所の経営指導を6ヶ月以上受けられている事業者

◆貸付限度額 2,000万円

◆貸付期間

運転資金10年以内 設備資金10年以内

◆貸付利率

年2.60%（6月30日現在）

LOBO 調査

5月の調査結果

業況DIは、中東情勢の影響が拡がり悪化。先行きは、影響の収束が見通せず、厳しい見方続く

全産業合計の業況DIは、▲24.3（前月比▲2.4ポイント）。建設業では、底堅い設備投資需要が下支えとなり、ほぼ横ばいに止まったものの、全業種で中東情勢の緊迫化に伴うエネルギー・仕入価格の上昇や調達困難化の影響が見られている。特に、製造業・建設業では、受注・生産量の減少や納期遅延などが発生しており、影響が深刻化している。卸売業・小売業・サービス業へも、石油由来製品の価格高騰・供給制約による利益率悪化といった影響が幅広く及んでおり、内需関連産業にも下押し圧力が拡大している様子がうかがえる。長引く物価高や円安の影響で消費者の節約志向が高まっている。大型連休は近場の観光施設や飲食店を中心に好調だったが、その後は勢いを欠いている。

先行き見通しDIは、▲27.3（今月比▲3.0ポイント）

高水準での賃上げが下支えとなっているものの、足もとの燃料価格の上昇や長引く物価高が、消費マインドを下押ししている。また、中東情勢の影響の収束が見通せない中、現状が長期化した場合、事業の見直しや資金繰りの悪化等につながることを懸念され、先行きは一段と悪化を見込んでいる。

ご報告

共済・福祉制度 推進キャンペーン

5月1日～6月30日にわたり、共済制度推進キャンペーンを実施しました。当商工会議所職員、アクサ生命保険㈱推進員が訪問した際には、多くの会員事業所の方々にご協力いただき、新規契約をいただくことができました。ご協力いただきました皆様、誠にありがとうございました。

お知らせ

わらてつまつり 2026 開催

ミニ新幹線試乗会や鉄道グッズ販売等、鉄道ファンのみならず、子どもから大人まで楽しめるイベントが開催されます。

◆開催日◆

2026年7月11日（土）・12日（日）

◆開催場所◆

蕨市立文化ホールくるる・旭町公民館

◆主催◆

わらてつまつり実行委員会

Watch

『川口地区雇用対策協議会 第 56 回定期総会』



6月9日（火）、当商工会議所が加盟する「川口地区雇用対策協議会」の第56回定期総会が川口駅前市民ホール フレンドピアにて開催されました。

当商工会議所からは町田副会頭が出席し、上程された「令和7年度事業報告および収支決算」、「令和8年度事業計画（案）および収支予算（案）」が審議され、原案通り承認されました。

『春期健康診断』

6月8日（月）、蕨商工会館3階多目的ホールにおいて、会員事業所の事業主、家族、従業員を対象とした「春期健康診断」を実施しました。当日は、戸田中央総合健康管理センターの協力のもと、約100名が受診されました。

当商工会議所では年2回（春・秋）の「定期健康診断」と「生活習慣病検診」も実施しておりますのでぜひご利用ください。



青年部メンバー募集中！

蕨商工会議所青年部とは

昭和62年11月「行動する商工会議所に若い活力」をモットーに、次代を担う若手経営者の総意により結成した、「若手経営者の異業種交流の場」と言えます。

同じ地域社会で生活する約100人の青年経済人が、資質の研鑽を通じて地域社会の発展に寄与することを目的に、研修会、親睦事業、イベント事業の開催をはじめ、蕨商工会議所が展開する諸事業にも積極的に参加しております。どうぞお気軽にお問い合わせ下さい！

●入会資格 蕨商工会議所の会員事業所の経営者、または後継者で50歳未満の方ならどなたでも入会できます。

●年会費 24,000円

●事務局 〒335-0004 蕨市中央5-1-19 Tel: 048-432-2655



青年部 HP は
←こちら

店舗外観



♪キラリと輝く藤の女性を紹介♪

ふたつが行く

女性特集 VER.



Instagram

ふたコンにちわ！

今号はわたし、ふたコが「キラリと輝く藤の女性」を紹介していくよ♪♪

第55回目は中央4丁目のドッグサロン「DOG SALON 柴犬」オーナーの鈴木 晴美さんをご紹介しますよ。

お問合せ

住所：藤市中央 4-14-16
電話：050-1809-4816
営業時間：10時～18時
定休日：不定休



省力化ナビ

省力化ナビでは、飲食業・宿泊業・小売業・理美容業・製造業・運輸業・建設業・自動車整備業など、幅広い業種の事例が掲載されていて、自社に近い業種の成功例を参考にできます。例えば、飲食業では配膳ロボットやセルフレジの導入、小売業では在庫管理ツールやAIチャットボットの活用、

【ふたコ】近年、人手不足がますます深刻で、現場の負担も大きく、なんとか改善したいという経営者のインタビューをニュースで見たと。
【経営指導員】そうなんだよ。まずは、省力化のヒントを探るところから始めるのがいいかな。中小企業基盤整備機構が公開している『省力化ナビ』を知ってる？
【ふたコ】何それ？教えて！
【経営指導員】それでは今回は、『省力化ナビ』について少し説明するね。

ふたコのお悩み相談

経営上の悩みを当商工会議所経営指導員が解決します！



製造業では動画ツールによる人材教育や生産管理のDX化など、現場の課題に即した実践的な取り組みが紹介されています。また、バックオフィス業務の効率化に役立つ勤怠管理ツール、会計の自動仕訳、販売管理システム、マニュアル動画作成など、業種を問わず活用できる事例も豊富に掲載されています。これらは大きな設備投資を伴わないものも多く、まずは小さく始めたい事業者にとっても取り組みやすい内容です。

人手不足や業務の属人化に悩む企業にとって、省力化は「守り」ではなく「攻め」の経営につながります。まずは自社の課題を整理し、身近なところから改善を始めることが重要です。「何から始めればよいか分からない」という方は、ぜひ省力化ナビを参考に、第一歩を踏み出してください。

【ふたコ】ありがとう。人手不足に悩む経営者の人は多いから、ぜひ活用してほしいね。

Interview

会社紹介

サンワ 三和株式会社 代表取締役 張麗琦

今回は、中央5丁目を拠点に多角的な事業を展開する三和株式会社の張麗琦（ちよう れいき）さんにお話を伺いました。張さんは2014年、佐賀大学大学院の研究生として来日。2016年に地域デザイン研究科の修士課程へ進学し、2018年に修了。その後は工学系研究科の博士後期課程で学び、2021年に博士号を取得されています。

在学中の2019年12月には、日中間の貿易を中心とした法人を佐賀市で設立。これが現在の三和株式会社の前身となりました。事業の拡大に伴い、2023年に本社を蕨市へ移転し、2024年には社名を「三和株式会社」へ変更されました。「天の利・地の利・人の和」を説く『孟子』に由来し、「天・地・人が調和し力を発揮する企業でありたい」という思いが込められているそうです。

現在は、祖業の久留米市で製造されるお線香の海外輸出に加え、有料職業紹介事業や江戸川区での旅客自動車運送事業など、事業領域を広げ続けています。

今後の抱負について伺いすると、張さんは「食を通じた中日交流の場をつくりたい」と柔らかに微笑みながら語っていました。6月12日に、JR西川口駅西口から徒歩3分の場所に「長白旬彩」という店名でオープンした新店舗では、中国朝鮮族料理を中心に、日本人にも

親しみやすい味わいを大切にしながら、本場の魅力伝える場を目指したいとのことでした。

本場の味と温かな交流を楽しみに、西川口の新店舗を訪れてみてはいかがでしょうか。

（取材 沼口 一幸）

三和(株)

◎事務所

住所：蕨市中央 5-3-16

電話：048-290-6893

◎長白旬彩

住所：川口市西川口 1-24-11

電話：048-299-8678



WeChat



LINE



掲載無料！！

【蕨商工会議所】

TEL 048-432-2655 F A X 048-444-1785



<http://warabiguide.com/>

インターネットで「蕨店舗ガイド」と検索

蕨店舗ガイド

検索



さらに、安価な有料オプションを付けることで、セール情報等タイムリーな店舗情報が発信できます。詳しくは蕨商工会議所までお問合せ下さい。